

目次

はしがき

凡例

第1編 犯罪の動向

第1章 刑法犯	2
第1節 主な統計データ	2
1 認知件数と発生率	3
2 検挙件数と検挙率	5
3 検挙人員	5
* コラム1 刑法犯以外も含めた犯罪の全体像を捉えるための試み	8
第2節 主な刑法犯	11
1 窃盗	12
2 強盗	14
3 詐欺	15
4 不同意性交等・不同意わいせつ等	18
5 その他の刑法犯	20
第2章 特別法犯	23
第1節 主な統計データ	23
第2節 主な特別法犯	25
第3章 諸外国における犯罪動向	27
第1節 諸外国における犯罪	27
1 殺人	28
2 窃盗	28
3 性暴力	30
第2節 国外における日本人の犯罪	31

第2編 犯罪者の処遇

第1章 概要	34
1 新規立法の動向	35
2 法テラスの活動	36

第2章 検察	37
第1節 概説	37
第2節 被疑事件の受理	38
第3節 被疑者の逮捕と勾留	39
第4節 被疑事件の処理	40
第3章 裁判	43
第1節 概説	43
第2節 確定裁判	44
第3節 第一審	44
1 終局裁判	44
2 科刑状況	46
3 裁判員裁判	48
4 即決裁判手続	51
5 公判前整理手続	51
6 勾留と保釈	52
第4節 上訴審	53
第4章 成人矯正	55
第1節 概説	55
1 刑事施設等	55
2 刑事施設における処遇	55
第2節 刑事施設の収容状況	56
1 刑事施設の収容人員	56
2 刑事施設の収容率	57
3 入所受刑者	57
4 出所受刑者	59
第3節 受刑者の処遇等	61
1 処遇の概要	61
2 作業	65
3 矯正指導	67
4 社会復帰支援	69
5 受刑者の釈放等に関する情報の提供	70
第4節 刑事施設の運営等	71
1 刑事施設視察委員会	71
2 給養・医療・衛生等	71
3 民間協力	71
4 規律・秩序の維持	72
5 不服申立制度	72
第5節 未決拘禁者等の処遇	73
第6節 官民協働による刑事施設等の整備・運営	73
* コラム2 刑事施設改革の現状	74

第5章 更生保護	78
第1節 概説	78
1 更生保護における処遇	78
2 更生保護の機関	78
第2節 仮釈放等と生活環境の調整	79
1 仮釈放等	79
2 生活環境の調整	82
第3節 保護観察	84
1 保護観察対象者の人員等	84
2 保護観察対象者に対する処遇	88
3 保護観察対象者に対する措置等	94
4 保護観察の終了	95
第4節 応急の救護・更生緊急保護の措置等	96
第5節 恩赦	98
第6節 保護司、更生保護施設、民間協力者等と犯罪予防活動	98
1 保護司	98
2 更生保護施設	100
3 自立準備ホーム	102
4 民間協力者及び団体	103
5 更生保護協会等	104
6 犯罪予防活動	104
第6章 刑事司法における国際協力	105
第1節 刑事司法における国際的な取組の動向	105
1 京都コンGRESの成果の具体化	105
2 国際組織犯罪対策及びテロ対策	107
3 薬物犯罪対策	107
4 マネー・ローンダリング対策	108
5 汚職・腐敗対策	109
6 サイバー犯罪対策	109
7 国際刑事裁判所	109
第2節 犯罪者の国外逃亡・逃亡犯罪人の引渡し	110
1 犯罪者の国外逃亡	110
2 逃亡犯罪人の引渡し	110
第3節 捜査・司法に関する国際協力	111
1 捜査共助	111
2 司法共助	111
3 刑事警察に関する国際協力	112
第4節 矯正・更生保護分野における国際協力	112
1 国際受刑者移送	112
2 矯正・更生保護に関する国際会議	113
第5節 刑事司法分野における国際研修・法制度整備支援等	114
1 国連アジア極東犯罪防止研修所における協力	114
2 法制度整備支援	114

第3編 少年非行の動向と非行少年の処遇

第1章 少年非行の動向	118
第1節 少年による刑法犯	118
1 検挙人員	118
2 属性による動向	120
3 罪名別動向	122
4 共犯事件	123
第2節 少年による特別法犯	125
1 検挙人員	125
2 薬物犯罪	126
3 交通犯罪	127
第3節 ぐ犯少年	128
第4節 不良行為少年	129
第5節 家庭と学校における非行	130
1 家庭内暴力	130
2 校内暴力	131
3 いじめ	131
第2章 非行少年の処遇	132
第1節 概要	132
1 少年法等の改正について	133
2 家庭裁判所送致までの手続の流れ	133
3 家庭裁判所における手続の流れ	134
4 保護処分に係る手続の流れ	135
第2節 検察・裁判	136
1 検察（家庭裁判所送致まで）	136
2 家庭裁判所	137
第3節 少年鑑別所	142
1 概説	142
2 入所・退所の状況	142
3 鑑別	145
4 観護処遇	147
5 非行及び犯罪の防止に関する援助	148
第4節 少年院	149
1 概説	149
2 少年院入院者	149
3 少年院における処遇	153
4 出院者	159
5 少年院の運営等	160

第5節	保護観察	161
1	概説	161
2	少年の保護観察対象者	161
3	少年の保護観察対象者に対する処遇	165
4	少年の保護観察対象者に対する措置	167
5	少年の保護観察の終了	167
第3章	少年の刑事手続	169
第1節	概要	169
1	起訴と刑事裁判	169
2	刑の執行	169
3	仮釈放	169
第2節	起訴と刑事裁判	170
1	検察庁での処理状況	170
2	通常第一審の科刑状況	171
第3節	少年の受刑者	172

第4編 各種犯罪の動向と各種犯罪者の処遇

第1章	交通犯罪	174
第1節	交通犯罪関係法令の改正状況	174
1	自動車運転死傷処罰法	174
2	道路交通法	174
第2節	犯罪の動向	175
1	交通事故の発生動向	175
2	危険運転致死傷・過失運転致死傷等	177
3	ひき逃げ事件	179
4	道交違反	180
第3節	処遇	181
1	検察	181
2	裁判	183
3	矯正	184
4	保護観察	185
第2章	薬物犯罪	186
第1節	犯罪の動向	186
1	覚醒剤取締法違反	186
2	大麻取締法違反等	188
3	危険ドラッグに係る犯罪	190
第2節	取締状況	191
1	覚醒剤等の押収量の推移	191
2	密輸入事案の摘発の状況	191

3	麻薬特例法の運用	193
第3節	処遇	194
1	検察・裁判	194
2	矯正	195
3	保護観察	197
第3章	組織的犯罪・暴力団犯罪	198
第1節	組織的犯罪	198
第2節	暴力団犯罪	198
1	組織の動向	198
2	犯罪の動向	200
3	処遇	204
第4章	財政経済犯罪	207
第1節	税法違反	207
第2節	経済犯罪	209
第3節	知的財産関連犯罪	211
第5章	サイバー犯罪	212
第1節	概説	212
第2節	不正アクセス行為等	213
第3節	その他のサイバー犯罪	214
*	コラム3 インターネットと犯罪	215
第6章	児童虐待・配偶者からの暴力・ストーカー等に係る犯罪	217
第1節	児童虐待に係る犯罪	217
第2節	配偶者からの暴力に係る犯罪	219
第3節	ストーカー犯罪等	221
1	ストーカー犯罪	221
2	私事性的画像被害に係る犯罪（リベンジポルノ等）	223
第7章	男女別に見た犯罪	225
第1節	犯罪・非行の動向	225
第2節	処遇	228
1	検察	228
2	矯正	228
3	保護観察	231
第8章	年齢層別に見た犯罪	233
第1節	犯罪の動向	233
*	コラム4 世代別に見た刑法犯検挙人員の人口比の推移	237
第2節	処遇	240
1	検察	240
2	矯正	241

3	保護観察	243
第9章	外国人による犯罪・非行	245
第1節	外国人の在留状況等	245
1	外国人新規入国者等	245
2	不法残留者	245
3	退去強制	245
第2節	犯罪の動向	246
1	刑法犯	246
2	特別法犯	248
第3節	処遇	249
1	検察	249
2	裁判	251
3	矯正	252
4	保護観察	253
第4節	外国人非行少年の動向と処遇	253
1	外国人犯罪少年の動向	253
2	外国人非行少年の処遇	254
第10章	精神障害のある者による犯罪等	256
第1節	犯罪の動向	256
第2節	処遇	256
1	検察・裁判	256
2	矯正	256
3	保護観察	257
4	精神保健福祉法による通報	257
第3節	心神喪失者等医療観察制度	258
1	審判	258
2	指定入院医療機関による医療	259
3	地域社会における処遇	260
第11章	公務員による犯罪	261

第5編 再犯・再非行

第1章	検挙	264
1	刑法犯により検挙された再犯者	264
2	刑法犯により検挙された20歳以上の有前科者	265
3	特別法犯により検挙された20歳以上の有前科者	267
4	薬物犯罪により検挙された20歳以上の同一罪名再犯者	267

第2章 検察・裁判	269
1 起訴人員中の有前科者	269
2 全部及び一部執行猶予の取消し	271
第3章 矯正	272
1 再入者	272
2 出所受刑者の再入所状況	274
3 出所受刑者の再入率の推移	278
4 再入者の再犯期間	280
第4章 保護観察	281
1 保護観察開始人員中の有前科者	281
2 保護観察対象者の再処分等の状況	282
第5章 少年の再非行・再犯	287
1 少年の再非行	287
2 保護観察処分少年及び少年院入院者の保護処分歴	289
3 少年院出院者の再入院等の状況	290
4 少年の保護観察対象者の再処分の状況	292

第6編 犯罪被害者

第1章 統計上の犯罪被害	296
第1節 被害件数	296
第2節 生命・身体への被害	298
第3節 性犯罪被害	299
第4節 財産への被害	299
第5節 被害者と被疑者の関係	300
第6節 国外における日本人の犯罪被害	301
第2章 刑事司法における被害者への配慮	302
第1節 刑事手続における被害者の関与	302
1 被害申告及び告訴	302
2 起訴・不起訴等に関する被害者等への通知	302
3 不起訴処分に対する不服申立制度	302
4 公判段階における被害者等の関与	304
5 矯正・更生保護段階等における被害者等の関与	307
6 少年事件における被害者等への配慮	308
7 法テラスによる被害者等に対する支援	309
8 地方公共団体における被害者支援に向けた取組	310
第2節 犯罪被害者等に対する給付金の支給制度等	311
1 犯罪被害給付制度	311

2	国外犯罪被害弔慰金等の支給制度	311
3	被害回復給付金支給制度	311
4	被害回復分配金支払制度	311
5	自動車損害賠償保障制度	311
6	地方公共団体による見舞金制度等	312
第3節	人身取引被害者保護	312

第7編 犯罪被害の実態 (犯罪被害の暗数と精神障害を有する者等の性犯罪被害)

第1章	はじめに	314
第2章	被害者に着目した犯罪被害の動向	316
第1節	検挙	316
1	主な統計データ	316
2	被害者の年齢層	322
3	被害者と被疑者等の関係	328
第2節	検察	332
1	主な統計データ	332
2	不起訴率等	339
第3章	数値から見る犯罪被害者等施策	342
第1節	検察	342
1	検察庁における被害者等通知制度の実施状況	342
2	児童を対象とする代表者聴取の実施状況	343
3	精神に障害を有する性犯罪被害者を対象とする代表者聴取の実施状況	345
4	通常第一審における被害者参加制度の実施状況	347
	* コラム5 代表者聴取を行う検察官の取組	348
第2節	矯正	351
1	矯正における被害者等通知制度の実施状況	351
2	矯正における被害者等の心情等の聴取・伝達制度の実施状況	354
	* コラム6 心情等の聴取・伝達制度の運用を支える被害者担当官の取組	356
第3節	更生保護	358
1	更生保護における被害者等通知制度の実施状況	358
2	更生保護における意見等聴取制度の実施状況	360
3	更生保護における心情等聴取・伝達制度の実施状況	362
4	更生保護における相談・支援の実施状況	363
第4章	特別調査①(犯罪被害の暗数)	365
第1節	調査の概要	365
1	調査の意義	365
2	調査対象犯罪被害・調査回答者等	366
第2節	調査の結果(第6回調査)	369

1	調査対象犯罪被害の被害率	369
2	第6回新規調査（あおり運転）	371
3	第6回新規調査（インターネット上での誹謗・中傷・個人情報の流布）	372
第3節	調査の結果（過去の調査との比較）	373
1	過去5年間の被害率・被害申告率	373
2	治安に関する認識	380
第4節	調査の結果（被害不申告の理由）	380
*	コラム7 被害率（暗数調査）と被害率（認知）の罪名別経年比較の試み	384
第5章	特別調査②（精神障害を有する者等の性犯罪被害）	387
第1節	調査の概要	387
1	調査対象事件・調査対象被害者	387
2	調査対象被害者の特徴	388
第2節	調査の結果	389
1	調査対象事件の特徴	389
2	加害者の属性等	391
3	被害申告の経緯等	393
4	司法面接的手法による取調べ	398
第6章	おわりに	401
第1節	被害者に着目した犯罪被害の動向	401
1	検挙	401
2	検察	402
3	考察	403
第2節	数値から見る犯罪被害者等施策	403
1	検察	404
2	矯正	404
3	更生保護	404
4	考察	404
第3節	特別調査から判明した犯罪被害者等が抱える困難な状況等	405
1	特別調査①（犯罪被害の暗数）	405
2	特別調査②（精神障害を有する者等の性犯罪被害）	406
第4節	犯罪被害者等の個々の事情に一層配慮した更なる支援のために	408
1	精神障害を有する者を中心とした性犯罪被害の防止に向けて	408
2	被害の顕在化に向けて	409
3	刑事司法の各段階における犯罪被害者等施策の活用・充実のための方策	411
4	まとめにかえて	412
事項索引		413

資料編目次 (※ CD-ROM 収録)

- 資料1-1 刑法犯 認知件数・発生率・検挙件数・検挙率・検挙人員
- 資料1-2 刑法犯 認知件数・検挙件数・検挙人員 (罪名別)
- 資料1-3 刑法犯 検挙率 (罪名別)
- 資料1-4 特別法犯 検察庁新規受理人員 (罪名別)
- 資料2-1 検察庁新規受理人員 (罪名別)
- 資料2-2 検察庁終局処理人員 (罪名別)
- 資料2-3 地方裁判所における死刑・懲役・禁錮の科刑状況 (罪名別)
- 資料2-4 刑事施設の一日平均収容人員
- 資料2-5 刑事施設の収容率の推移
- 資料2-6 年末在所懲役受刑者人員 (刑期別)
- 資料2-7 特別改善指導の受講開始人員の推移
- 資料2-8 仮釈放・少年院仮退院審理事件 審理開始・許可等人員
- 資料2-9 保護観察開始人員・全部又は一部執行猶予者の保護観察率
- 資料2-10 保護観察開始人員 (罪名別、男女別)
- 資料3-1 少年・20歳以上の者の刑法犯・危険運転致死傷・過失運転致死傷等 検挙人員・人口比・少年比
- 資料3-2 少年による刑法犯 検挙人員・人口比 (年齢層別)
- 資料3-3 少年による刑法犯 検挙人員 (罪名別)
- 資料3-4 触法少年による刑法犯 補導人員 (非行名別)
- 資料3-5 少年による刑法犯 罪名別検挙人員 (男女別、年齢層別)
- 資料3-6 少年による特別法犯 検挙人員 (罪名別)
- 資料3-7 犯罪少年の検察庁新規受理人員・人口比 (年齢層別)
- 資料3-8 犯罪少年の検察官処遇意見・家庭裁判所終局処理結果の各構成比 (年齢層別)
- 資料3-9 少年保護事件 家庭裁判所終局処理人員 (処理区分別、非行名別)
- 資料3-10 少年鑑別所入所者の人員・一日平均在所人員 (男女別)
- 資料3-11 少年入所受刑者の人員 (男女別、年齢層別、刑期別)
- 資料4-1 交通事故 発生件数・死傷者数・死傷率等の推移
- 資料4-2 覚醒剤取締法違反等 検察庁終局処理人員
- 資料4-3 覚醒剤取締法違反等 通常第一審における有罪 (懲役) 人員 (刑期別)
- 資料4-4 財政経済犯罪 起訴・不起訴人員
- 資料4-5 サイバー犯罪 検察庁終局処理人員
- 資料4-6 外国人の検察庁終局処理人員
- 資料4-7 来日外国人被疑事件 検察庁終局処理人員 (罪名別)
- 資料4-8 被告人通訳事件 通常第一審における有罪人員・科刑状況 (懲役・禁錮) の推移
- 資料4-9 F 指標入所受刑者人員 (国籍別)
- 資料4-10 外国人の保護観察開始人員 (国籍別)
- 資料5-1 再入者人員 (罪名別、男女別)
- 資料5-2 入所受刑者の入所度数別人員 (罪名別)
- 資料5-3 再入者の再犯期間別人員 (前刑罪名別)